

今回は、松本藩士出身で松本町町長・市長を連続して長きにわたって務め、市制の礎を築いた小里頼永についてお尋ねしますのでお答え下さい。

1. 次の文は、小里頼永の経歴について述べてある。この中で間違っていて述べてあるものはどれか、一つ選びなさい。

- ① 安政 2年（1855）5月1日、江戸呉服橋内松本藩主の屋敷に生まれる。
- ② 明治 8年（1875）筑摩県師範学校で、6ヶ月の講習を受け、小学校の教員になる。
- ③ 明治21年（1888）長野県会議員になる。
- ④ 明治23年（1890）参議院議員になる。
- ⑤ 明治31年（1898）北海道支庁長（在任3ヶ月）となる。
- ⑥ 昭和16年（1941）7月3日死去。享年87歳。

2. 小里頼永の住まいは、どこの町にあったのか、次の中から一つ選びなさい。

- ① しんまち 新町
- ② たまち 田町
- ③ かたは 片端町
- ④ ふくろ 袋町

3. 小里頼永は、明治35年7月より松本町長となり、その後市制施行とともに市長として連続し、長きにわたって市発展のために尽くした。町長から市長まで連続何年間務めたか、次の中から一つ選びなさい。

- ① 35年間
- ② 40年間
- ③ 30年間
- ④ 25年間



4. 松本市の首長になってからは、「松本に県庁を」を信念に持ち、市の発展を念頭におき、陣頭指揮のもとで多くの人々に支えられながら力を尽くした。小里頼永の政治生活のバックボーンのひとつとなったのは、次のうちどれか、一つ選びなさい。

- ① 自由民権運動
- ② 合併説
- ③ 分県・移庁論



5. 明治38年（1905）3月、仙台での五十連隊の編制の動きがあり、松本町は積極的に誘致に動き出した。小里頼永は、松本藩士出身の幹部に陳情等をした。その結果、明治40年1月歩兵五十連隊兵営が松本に確定し、翌41年11月3日に入営した。さて、松本藩士出身の幹部とは誰か、次の中から一人選びなさい。

- ① まさたろう 澤柳政太郎
- ② しんじ 辻新次
- ③ こげつ 西郷孤月
- ④ やすまさ 福島安正

